

社名

秋田プライウッド株式会社

本社所在地

〒010-0941 秋田県秋田市川尻町字大川反232
TEL 018-823-8511 FAX 018-862-1513
URL <https://www.aplywood.co.jp/>
E-mail info@aplywood.co.jp

設立

1963年2月9日

資本金

185,208千円

年間売上高

237億円(2024年4月期)

社員数

277名(2024年4月現在)

役員

代表取締役社長	井上 篤博
取締役統括本部長	齋藤 実
取締役事業推進室長	齋藤 英和
取締役総務経理部長	金田 憲明
監査役	三浦 智



工場所在地

本 社

〒010-0941 秋田県秋田市川尻町字大川反232
(本 社)TEL 018-823-8511 FAX 018-862-1513
敷地面積 69,330㎡ 建物延面積13,383㎡

向浜第1工場

〒010-1601 秋田県秋田市向浜1-1-3
TEL 018-863-3421 FAX 018-863-3423
敷地面積 62,820㎡ 建物延面積 25,515㎡
2003年 5月 ISO9001認証取得
2004年11月 ISO14001認証取得

向浜第2工場

〒010-1601 秋田県秋田市向浜1-1-2
TEL 018-863-1811 FAX 018-824-0354
敷地面積 62,177㎡ 建物延面積 19,892㎡
2002年3月 ISO9001認証取得
2004年5月 ISO14001認証取得

男鹿工場

〒010-0511 秋田県男鹿市船川港船川字海岸通り2-22-3
TEL 0185-23-2901 FAX 0185-23-2902
敷地面積 80,308㎡ 建物延面積 25,254㎡
2002年3月 ISO9001認証取得
2007年4月 ISO14001認証取得

フローリング第1工場

〒010-1601 秋田県秋田市向浜1-1-5
TEL 018-824-0801 FAX 018-824-0804
敷地面積 17,340㎡ 建物延面積 7,874㎡
2002年5月 ISO9001認証取得

フローリング第2工場

〒010-1601 秋田県秋田市向浜1-1-143
TEL 018-862-6518 FAX 018-862-7022
敷地面積 22,016㎡ 建物延面積 7,604㎡
2002年5月 ISO9001認証取得

住宅事業部工場

〒010-1601 秋田県秋田市向浜1-1-1
TEL 018-866-1900 FAX 018-866-1902
敷地面積 22,016㎡ 建物延面積 9,610㎡
2002年9月 ISO9001認証取得

東京事務所

〒113-0033 東京都文京区本郷1-25-5
TEL 03-3818-1935 FAX 03-3817-0425



沿革

- 1963年 2月 秋田市川尻に秋田県誘致企業として太田産業(株)を設立。
- 1968年 5月 (株)本荘ベニヤ製作所と合併し、秋田プライウッド(株)と商号を改める。
- 1974年 3月 秋田市向浜地区に合板工場を建設、向浜工場として操業開始。
- 1975年 11月 秋田市川尻に製品配送管理部門として、山王運輸(株)を設立。
- 1987年 9月 秋田市向浜地区に合板塗装部門として、エーピーコート(株)を設立。
- 1988年 10月 秋田市向浜地区にフローリング製造部門として、エーピーフロアー(株)を設立。
- 1989年 3月 秋田県男鹿市に乾燥単板製造部門として、エヌエル工業(株)を設立。
- 1990年 11月 秋田市川尻に合板加工部門として、エーピー加工(株)を設立。
- 1992年 12月 秋田市向浜地区に原木保管・木皮処理部門として、秋田地区合板事業協同組合を設立。
- 1994年 4月 エーピーフロアー(株)とエーピーコート(株)を合併。
- 2001年 1月 秋田市川尻に合板販売会社、アイプライ(株)を設立。
- 2001年 5月 秋田プライウッド(株)と東洋合板工業(株)を合併。
- 2002年 4月 秋田市向浜地区に木質廃棄物中間処理部門として、(株)エーピー環境テクノセンターを設立。
山王運輸(株)と東合運輸(株)を合併し、エーピー物流(株)と商号を改める。
- 2003年 10月 秋田県鳥海山麓に山林280haを取得し、「アキブラの森 鳥海」と名付け植林間伐事業を開始する。
- 2004年 2月 エヌエル工業(株)男鹿工場を、秋田プライウッド(株)男鹿工場へ移行し生産効率の拡充を図る。
- 2004年 10月 エーピー加工(株)と(株)エッチアンドシーホームを合併し、エーピービルド(株)と商号を改める。
- 2005年 4月 (株)エーピー環境テクノセンターをエーピー環境(株)に改称し、資源循環システムを確立。
- 2006年 7月 秋田市仁井田に老人介護施設の運営・管理を目的に、エーピー福祉(株)を設立。
- 2006年 10月 平成18年度リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞受賞。
- 2007年 2月 平成18年度木づかい運動農林水産大臣感謝状受賞。
- 2007年 4月 地域社会への貢献を目的に、老人介護施設仁井田福祉センターを開所。
- 2008年 12月 秋田県雄勝地域に山林160haを取得し、「アキブラの森 小町」と名付け、適切な森林管理を推進。
- 2009年 10月 男鹿工場を合板一貫工場として竣工。さらなる生産効率の拡充を図る。
- 2012年 7月 社内に森林事業部を創設。本格的に原木の素材生産を開始し、森林経営から国産材合板の製造まで一貫したビジネスモデルを目指す。
- 2014年 12月 秋田県横手地域に山林200haを取得し、「アキブラの森 横手」と名付け森林環境事業の拡大を進める。
- 2016年 4月 社有林「アキブラの森」の森林経営を効率的に展開するため、秋田県湯沢市秋の宮に雄勝営業所を開設。
- 2016年 4月 向浜第2工場を全焼させる火災が発生。
- 2017年 3月 安全対策と危機管理の徹底、再発防止に万全を期し、最新鋭の設備を導入した向浜第2工場を稼働再開。
二度とご心配をお掛けしないことを誓い生産を開始する。
- 2019年 4月 森林事業の一環としてカラ松や少花粉杉等の苗木生産(コンテナ苗)を開始。
植林や育林を通じて森林資源の再生に取り組み、持続可能な森林経営を実践。
- 2020年 4月 秋田県湯沢市皆瀬地域と、同由利本荘市岩城・高尾地域に山林合計63haを取得、
「アキブラの森 小安峡」「アキブラの森 天鷲」と名付け、森林環境事業のさらなる拡張を図る。
- 2020年 4月 当社で消費する原木の国産材率100%を達成。これまで以上に国産材の利用を積極的に推進。
- 2022年 3月 「秋田県SDGsパートナー」の登録を受ける。官民一体で持続可能な社会の実現を目指す。
- 2023年 7月 秋田県男鹿市に山林を取得し「アキブラの森 男鹿」と命名。森林資源の循環活用をより一層推進。
- 2024年 3月 森林環境事業をさらに発展させるため当社森林事業部を分離独立、エーピーフォーレ株式会社が発足。



業務内容

国産材合板・フローリング・内装材の製造販売及び森林環境事業

国産材合板

針葉樹構造用合板

針葉樹構造用合板は強度や耐久性に優れた構造部材としてご利用いただけます。

また、人に優しい低ホルムアルデヒド製品となっております。

針葉樹構造用合板12mmを張った耐力壁（地震や風などの水平荷重に対抗する能力を持つ壁）は木造軸組耐力壁及び枠組壁工法耐力壁の国土交通大臣認定を取得しています。

- ・木造軸組耐力壁の壁倍率 大壁3.1～4.0倍、真壁3.4～3.5倍
- ・枠組み壁工法の壁倍率 3.6～5.0倍

※壁倍率とは、建築基準法で定められた耐力壁の強さを表した数値です。



ネダノンシリーズ

- ・ネダノン
- ・ネダノンQF45(45分準耐火認定)
- ・ネダノンスタッドレス5+

従来の構造用合板は根太打ちをして建築工事を行っていましたが、ネダノンは根太を省略できる床組として認定されました。ネダノンを使用することで工期を短縮しながらも耐震性に優れた住宅を建設することが可能となりました。

「ネダノンQF45」は合板初の45分準耐火製品として国土交通省から認定されており、「ネダノンスタッドレス5+」は壁倍率5.0倍の国土交通大臣認定を取得しています。



選挙ポスター掲示板用 秋田県産杉合板

この選挙ポスター掲示板用合板は山林に放置されCO2の排出源となってきた間伐材を活用しており、森林保全、CO2削減に有効的です。

使用後の掲示板は秋田プライウッドでチップ化してバイオマス発電の燃料となり、再び合板をつくるためのエネルギーとして再利用しています。



フローリング

木肌の持っている美しくあたたかな風合いをそのまま活かした人に優しいフローリングは、湿度の調整や衝撃の吸収、防音、断熱、保温といった数々の優れた特徴をそなえています。





内装材

内装材 杉小町

秋田杉の間伐材を利用した内装材です。秋田杉独特の香りと手触り、風合いを暮らしの中でお楽しみいただけます。
また、天然木材化粧単板を表面に貼り合わせることで従来は節が邪魔をして製品にできなかった間伐材も無駄なく有効活用しています。

厚さ	幅	長さ	入数	重量
9mm	145mm	1,818mm	1ケース12枚入	14kg



杉小町の特徴

- ・木目が美しく、肌触りが良い、香りが広がるなど木材の特性を活かした製品
- ・断熱性、調湿作用に優れているため日本の住宅に適している
- ・国産針葉樹合板使用により伸び縮みが少なく無垢材よりも均一の品質を保つ
- ・ホルムアルデヒド発散等級が規制対象外(F☆☆☆☆)の、人に優しい建築材料として国土交通大臣より認定されている

●杉小町 施工例



資料請求先

秋田プライウッド（株） フロアー事業部 TEL:018-824-0801 FAX:018-824-0804



森林環境事業

原木の素材生産から国産材合板の製造まで一貫したビジネスモデルを目指し、計画的な植林や間伐を実施することで持続可能な森林経営を実践しています。

加工が難しいとされている間伐材も加工できる技術を持つ当社が「植える」→「育てる」→「収穫する」→「使う」を繰り返し実践することで、森林保全、地球環境の保護に大きく貢献します。



「アキブラの森 鳥海」をはじめとする社有林では美しく、健全な森を目指して定期的な下刈り作業と間伐作業を行っています。

当社は「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき「認定事業体」として秋田県から認定されています。

「認定事業体」とは、「林業労働力の確保の促進に関する法律(平成8年法律第45号)第5条」に基づき、林業事業主が労働環境の改善、募集方法の改善、雇用管理の改善、事業の合理化などを図るために必要な措置について計画を作成し、秋田県知事に提出して、当該計画が適当である旨の認定を受けた事業体です。

企業理念 Corporate Mission [Since 2001]

①

そうだ! 地球環境を保護しよう!

かけがえない地球の大切な自然を守る。あらゆる生命を生み、そして育む青い豊かな水を湛える海。いろいろな生命があふれる地球に美しい緑ときれいな酸素を与えてくれる森林。穏やかで健やかな地球の自然を永遠に守り続けたい。だから、地球の何処かで1本の木を植えることから始めよう!

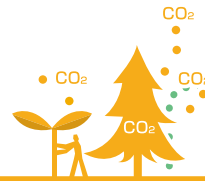


秋田プライウッドでは
コーポレート・ミッションをベースにした
5つの誓いを掲げています。

④

そうだ! 木に感謝しよう!

比較的新しい生物である人間は地球と喧嘩している。地球と仲良くする方法を地球と最も長く共生してきた生物種に学ぼう。それは木。あらゆる環境を受け入れて生長していく。しかも自然に光合成ができ、二酸化炭素を吸収して酸素を供給する。凄い!



②

そうだ! 住環境を充実しよう!

都市を開発し住宅を建設し、そこで生活を営む。緑豊かな地球と快適な都市空間、そして木に包まれた居住空間—私達の生命と健康にとってなくてはならない存在。この地球で人類とともに生長して人類の文明や生活の豊かさや潤いを支えてきた、自然の貴重な資源である木に囲まれて健康に暮らしたい。



Active & Positive 5つの誓い

⑤

そうだ! 植林木を利用し リサイクルもしよう!

REDUCE REUSE RECYCLE!
まず植林再生できる『自然の森林資源』を原材料として効率的に利用し製品にする。製品の使用が終わったら、それを『都会の森林資源』(解体される住宅や家具のこと)として回収し原料化して再び製品にする。やがて熱や電力エネルギーにもなってもらおう。もちろんその全工程は環境負荷を最小限にする努力が必要。永遠の資源循環だ!木に学び、自然の一部である人間が地球と共生する瞬間だ!



③

そうだ! 自然メカニズムを理解しよう!

人間も自然の一部であることを忘れずに、地球人である限り地球環境との共生にチャレンジする。もう母なる地球に負担をかけるのはやめよう。少なくとも負荷を最小限にしよう。そのためには、自然のメカニズムを理解してその中に人間社会を組み入れる技術を開発し、末長く共存すること。



SPORTS SUPPORT

秋田プライウッド スポーツ支援活動

プレーを通して秋田を元気にしたい、盛り上げたいと願うチームの想いに共感し、
秋田ノーザンハピネッツ・ブラウブリッツ秋田・秋田ノーザンブレッツの
3チームを様々な形でサポートしています。

秋田ノーザンハピネッツ

BASKETBALL
B.LEAGUE 所属 プロバスケットボールチーム



セカンダリーシャツ



ウォームアップシャツ



エコステーション



秋田県立体育館観客席
足下にロゴを焼印!



ブラウブリッツ秋田

SOCCER
J2リーグ 加盟 プロサッカーチーム



トレーニングユニフォーム



ピッチサイドバナー



エコステーション



秋田ノーザンブレッツR.F.C

RUGBY
トップイーストリーグDiv.1 所属 ラグビーチーム



トレーニングユニフォーム



応援フラッグ



トレーニングウェア



スタッフウェア



空港リムジンバスに3チームを応援するラッピング広告を掲載